

第2学年1組道徳学習指導案

指導者 T1 学級担任
T2 学級副担任

- 1 主題名 責任感の強い人間 (内容項目1-(3))
資料名 「私たちの初詣」(出典 彩の国の道徳「自分をみつめて」)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことは大切である。しかし、中学生の時期は、自我意識が強まり、自分の判断や偏見に固執してしまうことがある。また、自主的に考えて行動できる反面、周囲を気にして他人の言動に左右され、流されやすく、正しい判断ができないこともある。特に、表面的で狭い友人関係から、人間関係を気にしてなかなか思うように行動できないことがある。

そこで、この時期を指導の好機と考え、自律的な精神と責任をもって行動し、自分の選んだ行動に責任をもとうとする主体性と、人間としてよりよく生きていく気持ちを育てたい。また、自分が誠実に行動したことによって周りがどう感じ、どんな影響を受けるかを考えることや、誠実に行動できたときの自分の気持ちを考えることでその価値に気付くこともできると思われる。

2年生は、夏休み前の「目指す生徒像の自己評価」によると、「正しい判断をして、行動しているか」について、90%の生徒が「だいたいできた」と答えている一方で、「差別を見かけたときに注意をしているか」については、「だいたいできた」と答える生徒は50%である。また、「学級の仲間と仲良くし、よりよい学校生活を築いているか」では90%が「だいたいできた」と答えている。このことから、現在の学年の雰囲気は大切にしながらも、さらに、人間としてよりよく生きていく態度を育てていきたいと思う。

(2) 生徒の実態

本学級は、穏やかで朗らかな生徒が多く、概ね、落ち着いた学校生活を送っている。2年生になり、しっかりと物事を考え、自分の考えをもつことはできるようになってきてはいるが、自分の意見を臆することなく言える生徒は一部である。また、友達の存在を意識し、仲のよい友達との絆を深めようとする傾向がみられる一方で、表面上仲良しのように見えても自分が仲間からはずれないように、気を遣い、安易に同調するだけの関係にとどまっている生徒もいる。そのような生徒は、些細なことでトラブルになり、修復できずいたり、新しい友達関係を築けず、狭い仲間意識や関わり方の未熟さから人間関係の広がりを作れないでいる。

このような実態から、日々の生活の中で、お互いに信頼し合える好ましい人間関係を築くことが必要だと感じる。そして、生徒一人一人の人間性を豊かにし、中学校生活をより充実したものにできることを願って指導していきたい。

(3) 資料の活用について

メールを返さない優子をぬかして、他の友達と初詣に出かけた美香子、友達の目を気にして同調してしまう美香子に共感させながら、優子の心のこもった年賀状から優しさにふれ、仲間はずしをしたことを後悔し、自分から謝ろうとする美香子の行動を通して、自分で判断し実行しようとする態度を養いたい。

3 研修テーマとの関わり

「確かな学力を育成する授業づくり～学力向上の基盤としての道徳的実践力の育成～」では、道徳的実践力を確かな学力につながる学力向上の基盤と捉えている。本時のねらいとなっている「自主・自律、誠実、責任」は、自分から主体的に学習に取り組む態度、継続して誠実にやりとげ、その結果をうけてさらに努力をしていくことにつながり、まさに学力向上の基盤になると考える。道徳の時間において、自主的に考え、発表したり、他の人の考えをしっかりと受け止め、自分に素直に向かうことにより、教科の授業における学習の構えや学ぶ意欲・実行力につながるものと考えられる。

本時では、以下のことを工夫した。

①プリントの活用

発表はできなくても、他者の考えを聞き、じっくりと考え、表現させ、自分の考えを深め、言語活動の充実を図る。

②気持ちを表すカードを使用

言葉で表すことが苦手な生徒も、授業に参加し、自分の気持ちを表現できる場面を作る。

③TTによる指導

役割分担をして、生徒の意見をより多く吸い上げる。

4 他の教育活動等との関連

・行事との関連

5月の体育祭では、個人の都合を優先するのではなく、言うべき立場の人や言うべきことをきちんと伝えることが、全体のまとまりを作り、みんなで練習を頑張ろうという雰囲気が出来上がることを実感してきた。

・特別活動との関連

昨年度より、人間関係づくりの「ライフスキル」の学習に継続して取り組んでいる。今年度は7月に「上手な頼み方」について実習した。

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・他人の言動に左右されることなく、自主的に考え判断し、誠実に実行してその結果に責任を持つとする態度を育てる。
- ・自主的に考え、発表したり、他の人の考えをしっかりと受け止める。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 自分の行動を思い起こす。 ○友達に言えますか。 ・テスト前に「ノートを貸して欲しい。」 ・テスト前に「ノートを貸して欲しい。」と 言ってきた友達に、 「困るのはいやだ。」 (T2)	・前よりけっこう言える ようになってきている。 ・場合による。 ・その場の雰囲気や関係を 崩したくないので言 わない。	・自分の行動を思い起こさせる。 ・あまり深入りをしないで進める。
展 開	2 資料を範読する。(T1) ・線を引きながら、聞く。 3 「美香子」の気持ちを中 心に話し合う。 発問①他の友達にメールを を返信しているときの 美香子はどんな気 持ちだろうか。 補助発問 役割演技をして、 集まった友達と 優子の話題をし ているときの美 香子の気持ちを 考える。	・ どうして返信がないの かな。 ・ 友達だと思っていたの に。 ・ はじめはそうでなくて もだんだん周りと同じ ように優子が悪いよう に思えてくる。 ・ みんなに合わせておこ う。	・ 気になったところやなるほど 思ったところ、等に線を引きな がら聞く。 ◎人間の弱さへの共感 ・ 心配しながらも、優子ぬきで行 くことに同意してしまう美香子 に共感させる。 ・ 役割演技をした生徒ではなく、 全体に聞いてみる。 ・ 優子のことを気にしながらも、 周りに流される美香子の気持ち に共感させる。
	発問②年賀状を振り分ける 手が止まってしまっ たときの美香子はど んな気持ちだろうか。	・ 優子の気持ちが伝わっ てきた。 ・ うれしい。 ・ 何でメールをくれなか ったのかな。	◎価値への気づき ・ 年賀状がきたことで、大切なこ とに気づいたが、そうでなくて も、気づかせたい。
開	発問③どんな思いで美香子 は真希に電話をかけ	・ 真希のことを考えると 怖い気もするが、優子	・ 真希に電話をかけることは、相 当思い切ったことだったことを

35分	<p>たのだろうか。</p> <p>発問④「優子、本当にごめんね。」と言えたとき、美香子はどんな気持ちだろうか。</p>	<p>のことをこのままにしておけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接言えてよかった。 ・晴れ晴れした。 ・自分の行動が真希たちの気持ちにも響いてよかった。 	<p>おさえておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の友達のことを気にすることなく、行動ができるかを考えさせたい。 ・「謝りたいか、謝らないか、謝れないか。」など、周りの人と意見交換をさせる。 ・気持ちを表すカードを使って、自分の気持ちを表現させる。 <p>◎価値の自覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誠実に実行したことにより、相手にとって必要な存在だと実感できた喜びから、さらによりよい自分になりたいと思っていく前向きさを押さえる。 ・今の自分が好きで、充実感を味わっている。
終末10分	<p>3 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美香子の行動の変化を通して感じたことや考えたことをまとめる。 <p>4 教師の話聞く。 (T1・T2)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で書かせる。 ・行為をする側の立場からだけでなく、その行為によって他人がどう感じたかということにも目を向けさせたい。そのことが行為の価値であり、誠実な行動の動機となりうると考える。 ・自分自身の問題としてとらえ、自主的に考え判断し、誠実に実行していこうとする気持ちをもてたか。

(3) 評価の観点

①生徒の評価

- ・「美香子」の心の変容から、誠実に実行したことにより、相手にとって必要な存在だと実感できた喜びや充実感から、さらによりよい自分や人間関係を作っていく前向きさを感じ取ることができたか。
- ・自分自身の問題としてとらえ、自主的に考え判断し、誠実に実行していこうとする気持ちをもてたか。

②教師の評価

- ・TTによる授業で、意見を出しやすい学習環境を作り、より多くの生徒の意見を吸い上げることができたか。

(4) 事後指導

- ・日常生活においてよりよい人間関係を築いていこうとするような行動や言動について、認めていく。
- ・人間関係づくりの「ライフスキル」の学習を継続して取り組んでいく。